

信頼ある行財政の政策が求められる

協働のまちづくりによる 事業の展開を

議員発議により合併検討特別委員会を設置



やまがたの棚田 20選（中山地区）

定例議会は、3月4日から14日までの11日間の会期で開かれました。
平成19年12月25日に本場米琉（白鷹板締小絆）が、山形県無形文化財に指定されたとの行政報告がありました。
本会議に提出された主な議案は、
平成20年度予算
一般会計74億2000万円
（一般会計、特別会計および企業会計総額134億8931万円）
国民健康保険税の改正など条例11件
19年度各会計補正予算などが、
審議の結果原案のとおり可決しました。
一般質問は、2名の議員が当面する町の問題点や課題をたきました。
議員発議による、市町村合併に関する調査研究を行うことを目的とする「市町村合併検討特別委員会」の設置についてを賛成多数で採択しました。

3月定例議会日程	
月日	会議
2月26日	議会運営委員会
3月4日	本会議 予算特別委員会
3月5日	議会運営委員会 本会議
3月7日	総務厚生常任委員会 総務厚生分科会
3月10日	産建文教常任委員会 産建文教分科会
3月12日	予算特別委員会
3月14日	議会運営委員会 本会議

報告 議会の動き

統合保育園の用地を取得

町は責任を持って対応
2月1日の鮎貝まちづくり事業調査特別委員会で、老朽化がすすむあゆか保育園とこぐわ保育園を統合した保育園や、全町を対象とした子育て支援センターの用地として、鮎貝土地画整理組合の保留地を取得したいので、三月定例議会の早い時期に議会の承認を得たいとの報告を受けました。
3月5日の本会議で、議員からは「蚕桑と鮎貝両地区で説明した時にどのような意見が出たのか。また、説明から約一ヶ月で、協働のまちづくりの理念を逸脱した拙速な提案ではないのか。」といった意見がありました。
当局からは、福祉用地の取得は緊急の課題である少子化の背景や施設の老朽化などから基本的な理解は得られている。設置場所には行政が責任を持つ必要があり、今後も地域の方に十分な説明をしていきますと答弁がありました。
町民との合意形成や、協働のまちづくりの理念に基づいた対応と事業の展開を行うことを並局に望み、『福祉用地の取得』を賛成多数で可決しました。



統合保育園の予定地